

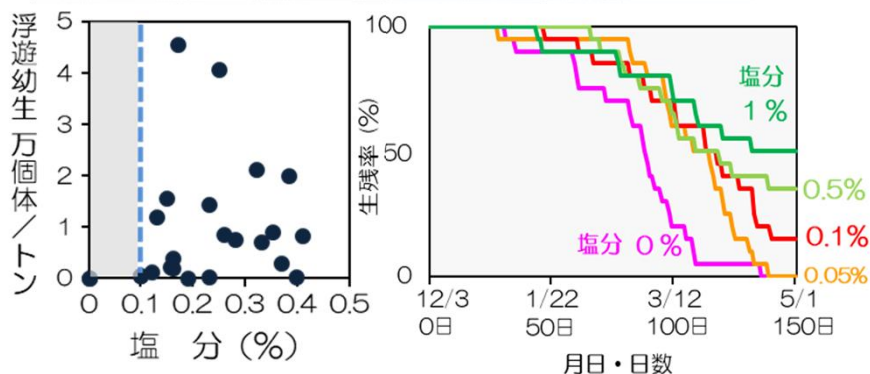
汽水環境の修復でヤマトシジミ資源が回復

背景

- ・ 冬季に海水浸入を防ぐ可動堰運用と豪雨により湖内表面の淡水化が長期化
- ・ 汽水を好むヤマトシジミ資源が急減

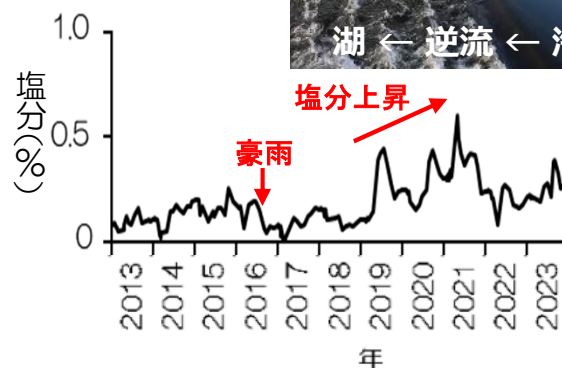
成果

1 低塩分下で産卵停止、 生存率低下を確認



塩分0.13~0.8%で産卵
水温1℃下では塩分0.1%以下で
生存率が顕著に低下

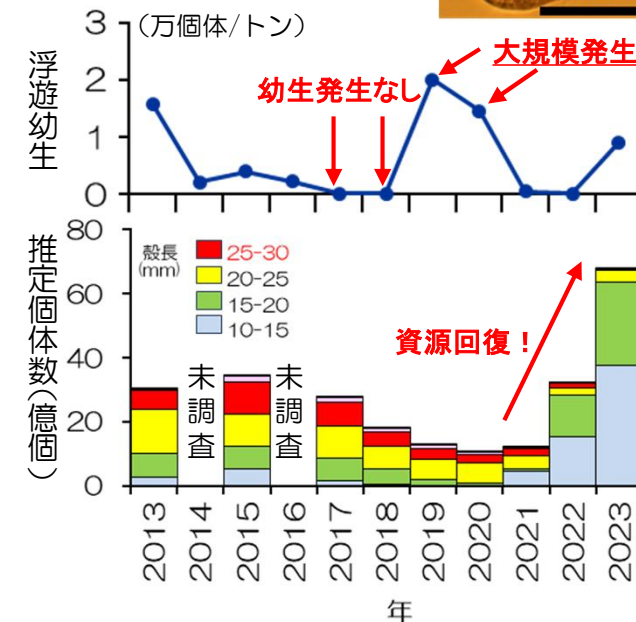
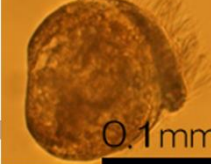
2 可動堰の一時停止を 提案・実施



2019-2020年に可動堰を停止
湖内（写真左側）に海水が進入し
湖内表面の塩分が上昇

3 稚貝が大発生し 資源回復へ

浮遊幼生



期待される効果

網走湖の環境保全とヤマトシジミ漁業の生産安定化への貢献が期待される。